

通級による指導 実践事例

年間指導目標	S児：自分の気持ちを、自分の言葉でしっかりと相手に伝えることができる。 M児：自分のやりたいことと、今やらなければならないことの優先順位を考えて、気持ちを切り替えることができる。 K児：毎朝学校に間に合うように、元気よく登校し、学級の授業に落ち着いて参加することができる。			
対象児童生徒の状況	学年	小学校3年	指導時期	10月～
	S児：自閉スペクトラム症（高機能） 自分の思いを言葉で表現することが苦手なので、相手に手を出したり、黙ったままやりすごそうとしたりすることがある。発音が不明瞭なものがある。 M児：自閉スペクトラム症、注意欠如多動症 注意散漫で集中できる時間が短い。自分の言いたいことは一方的に話す、相手からの質問に興味がないと、返事をしないことが多々ある。 K児：注意欠如多動症 一斉指導では、席について学習できないことがある。個別に声かけしてもすぐに離席したり、寝そべったりして、学習に参加できないことがある。			
関連する自立活動の内容	区分		内容	
	コミュニケーション	(S児)	(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること	
	心理的な安定	(M児)	(2)状況の理解と変化への対応に関すること	
	環境の把握	(M児)	(2)感覚や認知の特性についての対応に関すること	
	人間関係の形成	(K児)	(4)集団への参加の基礎に関すること	

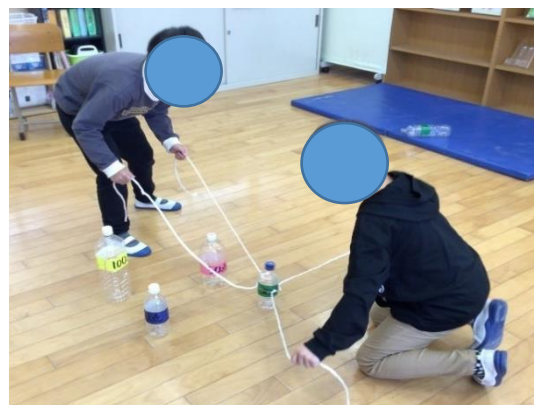
指導の具体的な様子

題材名	UFO キャッチャーゲーム		
題材目標	ルールを守って楽しく活動に参加し、仲間意識を高め、協力して目的を達成することができる。		
本時のねらい	S児：仲間意識を高め、自分の考えを相手に伝えたり、友だちの話に耳を傾けたりできるようにする。	M児：ルールを守って楽しく活動に参加し、場に応じた行動調整や対応ができるようにする。	K児：ルールを守って楽しく活動に参加し、集団の活動に協力できるようにする。
学習内容	指導・支援と留意点		備考・【評価】
(1) あいさつ	○あいさつをする。 ・本時の活動の流れを確かめる。 ・各自で今日めあてを決める。		ホワイトボード
(2) ゲーム	○「UFO キャッチャーゲーム」をすることを伝える。 ・ルールの確認 ・『みんなで楽しく遊ぶための6か条』を確認する。		ペットボトル・ゴム スズランテープ ワークシート
	めあて 協力して UFO キャッチャーゲームをしよう！		
	『UFO キャッチャーゲームのルール』 ① 3人で協力してテープを引っ張る。 ② ペットボトルにゴムを引っかけて、指定の場所まで運ぶ。 ③ 全て移動させるまで何分かかかるかタイムを記録する。	『みんなで楽しく遊ぶための6か条』 ① 誘い合う ② 順番を忘れない（守る） ③ 勝手にルールを変えない ④ 友だちがしていることを見る ⑤ 最後までやり続ける ⑥ 準備や片付けをする	
(3) 振り返り	○ゲームをする。 ○本時の振り返りをする。 ・ルールや『みんなで楽しく遊ぶための6か条』を守れたか確認する。 ・自分や友だちの行動や発言で良かったところを共有する。		【評価】 ワークシート・言動

指導の結果（児童生徒の変容・通常学級での様子など）

【今回の自立活動の結果】

- ・3人で仲良く、楽しくゲームをすることができた。前向きに活動に取り組むことができた。
- ・3人同時にペットボトルを運ぶことが難しかったので、2人ずつ取り組むように内容を変更した。
- ・S児は、他の二人の様子を見ながら積極的にアドバイスすることができていた。
- ・M児は、自分の順番になるとゲームに参加でき、積極的にすることができていた。
しかし、自分の順番でない時は、集中力が途切れ、別のことを考えたり、手遊びをしたりしていた。
- ・M児は、UFO キャッチャーの紐の力加減を調整することが難しかった。上手くいかず、少しイライラすることもあったが、他の二人の声かけで気持ちを切り替えることができていた。
- ・K児は、自分一人で競争するゲームは楽しむことができるが、今回のようなチームで協力するゲームでも仲良く楽しむことができるということが分かった。
- ・K児は、授業中にはあまり見られないような、友だちへの声かけや前向きな言葉かけができていた。



【児童の変容・通常学級での様子】

- ・S児は、自分の考えや思いをきちんと伝えることがかなりできるようになってきたが、まだまだ黙ったままやり過ごそうとする場面がある。特に自分に非がある場面（宿題忘れや持ち物忘れなど）では、正直に話し出すまでに時間がかかる。
- ・M児は、授業中だけでなく、給食や朝の用意の時間など、何をするにも集中力が持続できず、他のことに興味がいってしまう。しなければいけないことをナンバリングして、イラストをつけたカードなどを支援として使っているが、慣れてくると効果がなくなってくる。
- ・K児は、新しいことを始める際に、失敗したくないという不安が強く、集団参加が難しいことが多い。しかし、通級指導教室での自立活動では、積極的に楽しみながら活動に参加することができているので、ここで成功体験をたくさん積んで、通常学級でも生かしていきたい。



ゆーふぉー
『UFOキャッチャーゲームのルール』

- ① 3人で協力きょうりよくしてテープひを引っ張ばる。
- ② ペットボトルにゴムを引ひっかけ、指定していの場所ばしょまで運はこぶ。
- ③ 全て移動すべさせるまで何分いどうかかるかタイムなんぶんを記録きろくする。

たの あそ じょう
『みんなで楽しく遊ぶための6か条』

- ① 誘さそい合う
- ② 順番じゅんばんを忘わすれない (守まもる)
- ③ 勝手かってにルールかを変かえない
- ④ 友だちともがしていることみを見る
- ⑤ 最後さいごまでやりつづ続ける
- ⑥ 準備じゅんびや片付けかたづをする